

登録コード	A3594387	開講年度	2026				
授業科目	専攻研究Ⅰ					担当教員	堤 大三
英文授業名	Thesis ResearchⅠ						
単位数	2	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生（研究室配属後の学生対象）
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ						
	【2022年度以前カリキュラム対象】専門的な知識や研究能力を修得している				⇔	土砂移動現象やその結果発生する土砂災害のメカニズムについて議論し、研究対象とするテーマの意義、課題、目的を理解する。	
	【2022年度以前カリキュラム対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				⇔	土砂移動現象やその結果発生する土砂災害のメカニズムについて議論し、研究対象とするテーマの意義、課題、目的を理解する。	
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ						
	【2024年度以前カリキュラム対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				⇔	土砂移動現象やその結果発生する土砂災害のメカニズムについて議論し、研究対象とするテーマの意義、課題、目的を理解する。	
	【2024年度以前カリキュラム対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				⇔	土砂移動現象やその結果発生する土砂災害のメカニズムについて議論し、研究対象とするテーマの意義、課題、目的を理解する。	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、防災減災						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	土砂災害の防止・軽減のための技術、水や土砂移動現象の原理の探求について議論し、理解を深めます。						
(5)授業計画	教員と学生の双方のプレゼンテーションを基にディスカッション形式で実施します。また、内容に関わる実験や解析についての技術的な演習も実施します。 最終回の授業の最後に授業アンケートを実施します。						
(6)自主学習の指針	内容に関係する論文の収集、調査を行うことで理解を深める。						
(7)成績評価の基準	プレゼンテーションやディスカッションの内容で評価する。						
(8)事前事後学習の内容	事前・事後に、内容に関係する論文の収集、調査を理解を深める。						
(9)テストやレポートの予定	実施しません。						
(10)成績評価の方法	プレゼンテーションの内容、ディスカッションへの参加の積極性等を鑑み、相対評価を行う。						
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時対応。						
(12)履修上の注意	ディスカッションへの積極的な参加を心がけ、自ら興味のある研究テーマを探究することをに務めること。						
【教科書】	指定なし。						
【参考書】	随時、推薦を行う。						